



黄門様が招いた異国の禅僧

東臯心越と水戸光圀

企画展



第34回禅博セミナー 講演と演奏

東臯心越禅師の琴系と『東臯琴譜』の成立
講師 坂田進一 先生
(琴士 作・編曲家 東西古典音楽研究家)
平成27年10月14日(水)17:30~19:30
会場:駒澤大学中央講堂
※定員 100名・参加費無料

2015年
10月5日(月)
11月13日(金)

※一部展示資料は、11月21日(土)まで
題字篆書(東臯心越自筆)
「東臯」:東臯心越自画賛 頂相(祇園寺蔵)より
「心越」:東臯心越賛 楊柳観音図(個人蔵)より

【開館時間】10:00~16:30(入館は16:15まで)
入館無料

【休館日】土曜日、日曜日、10/15、29、30

【土日開館】10/17、31、11/1

【特別協力】寿昌山祇園寺(茨城県水戸市)
少林山達磨寺(群馬県高崎市)

【後援】世田谷区教育委員会

駒澤大学禅文化歴史博物館

The Museum of Zen Culture and History, Komazawa University

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢 1-23-1
TEL (03)3418-9610
FAX(03)3418-9611

http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/zenbunka/

今回の企画展の主人公は中国からやってきた禅僧東臈心越（とうりゅうしんえつ、1639～1695）と、水戸黄門のモデルとしておなじみの徳川光圀（1628～1700）です。

明出身の心越は、王朝が明から清に変わる際の戦乱を避けて来日しました。すぐれた禅僧であり、類いまれな文化人であった心越の名前は、やがて光圀の耳に届き、水戸に招かれました。

心越の禅は曹洞宗寿昌派として独特な禅風を築きました。また心越が日本に伝えた文化には七絃琴・篆刻・目薬などが知られ、数多くのすぐれた書画も残しています。

今回の企画展では、心越が開いた寿昌山祇園寺（茨城県水戸市）と、心越の弟子が開いた少林山達磨寺（群馬県高崎市）からの特別出品により、心越と光圀の交流や、心越の禅、文化、絵画墨蹟の世界を紹介します。



企画展シンボルキャラクター
心ちゃん



一行書（個人蔵）



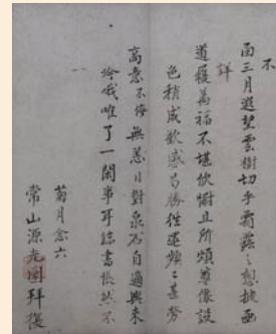
達磨図（達磨寺蔵）



出山釈迦図（祇園寺蔵）

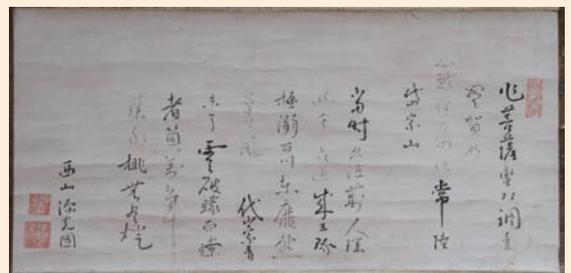
心越の絵画と墨蹟

心越と光圀

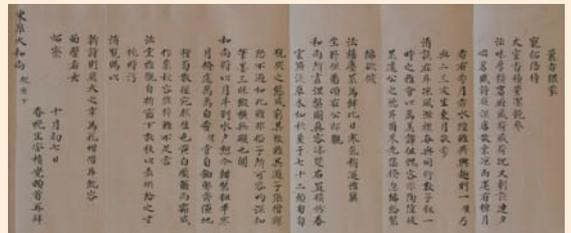


光圀自筆書状（心越宛て）
肖像画彩色完成の労をねぎらう手紙（祇園寺蔵）

東臈心越自画賛頂相 心越自身が描いた肖像画（祇園寺蔵）



天徳寺入院賀章 心越が水戸天徳寺（祇園寺の前身）に招かれたことを祝う光圀自筆の漢詩（祇園寺蔵）



安積寛（格さんのモデル）自筆書状（心越宛て）
心越作の大涅槃図を称讃する手紙（祇園寺蔵）



心越自刻印

心越とその文化

七絃琴（個人蔵）



自刻印譜集

※展示資料は予告なく変更となる場合がありますがご了承願います。



企画展シンボルキャラクター
光ちゃん

10月14日の禅博セミナーでは、七絃琴の生演奏が聞けます！

詳細は表面をご覧ください。
お問い合わせは 03(3418)9610

開館カレンダー 〇は休館日
※開館日は変更となる場合があります

10月						11月							
日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	28	28	29	30	31	29	30					